

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 25日

事業所 重症心身 児童発達支援 pal

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5	無回答:1 ・個人の医療物品や持ち物が多いため、カゴなどを使用し整理していく事で空間を確保する ・子どもの担当分けを行い、間隔をあげスペースを保つようにしている。	・密 ・曜日によって、スペースがせまい時がある。 ・用具も多い為、スペースが不十分である。 →人数に応じて、フロアを分ける。当日のリーダーが俯瞰で現場を見るようにし整理整頓を心がける。
	2	職員の配置数は適切である	7		無回答:1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	5	無回答:1 ・物が多い為、子ども達の活動に合わせ空間確保に努めている。 ・遊びの空間、学びの場をとっている。	・バリアフリー化は見直す必要があると思う。浴室、2階への移動も不安です。 ・手洗い場、トイレ等、設備等が適切ではない。自立に向けて支援しているケースの問題点である。 →現建物の老朽化もあり新社屋を建設予定である。また、賃貸の物件も引き続き探し中で、安心して過ごす事のできる環境作りに努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	3	無回答:1	・用具等の整理整頓が難しい状況である。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		無回答:2	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		無回答:1 ・毎朝の職員間ミーティングを通し情報交換や業務改善の早急な取り組みを行っている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		無回答:3 ・チームでよく話し合い、他チームにも話を聞いたり、評価の場をもっている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	無回答:1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		無回答:1 ・学研ナーシングサポートのeラーニングの活用。	
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		無回答:1		
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	無回答:2		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		無回答:1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		無回答:1 多職種でチームを編成し、多角的に支援を組み立てている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		無回答:1 保育士が中心となって、活動プログラムを企画している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		無回答:1	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		無回答:2	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	無回答:1	シフト制のため全員集まったのミーティングができていない。情報伝達ツールを活用し情報伝達を行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	無回答:2	時間は変則で全員集まったのミーティングができていない。情報伝達ツールを活用し情報伝達を行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		無回答:1	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		無回答:1	
	関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	無回答:1
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	無回答:1	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	無回答:1	自立支援協議会や各関係機関との密な連携を模索していく。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1	無回答:1	主治医の意見書や、救急ケース登録の活用。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	無回答:1	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	無回答:1 関係機関との情報共有として、送迎の引継ぎ時には1日の流れや健康チェックなどを行っている	各学校の特別教育コーディネーターや看護師との情報交換を密に行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
自との連携 関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	無回答:1	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	5	無回答:1 コロナ感染予防のため、中止や延期が多いが地域の保育園を対策を取り屋外での交流を行った	・コロナ流行期でできていないと思う。 →コロナ感染予防のため、現在は中止している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	無回答:2	・管理者が会議に出席しているが、職員にたいして周知がされていないので、SNSやミーティングによる周知が必要
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		無回答:1	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	無回答:3	・取り組みは弱いが行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		無回答:1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		無回答:1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	無回答:1	送迎時や会議、お電話等での相談にのっている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	無回答:1	LINEによる情報提供を行っている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		無回答:1	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		無回答:1	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		無回答:1	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		無回答:1	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	無回答:2	コロナ禍ではあるが規模を縮小したり感染に注意しながらハロウィンイベントなどを地域の保育園の子ども達と行った ・地域への行事の参加を行っている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	無回答:1	・定期的に勉強会を開き訓練を行っている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	無回答:1	年に2回の避難訓練(火事・地震)、定期的にBLS学習会を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		無回答:1	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	無回答:1	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		無回答:1	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		無回答:1	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		無回答:1	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 重症心身 児童発達支援 pal 保護者等数(児童数) 3 回収数 3 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3					
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2			1		
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	3					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2			1		送迎時にこまめなコミュニケーション、情報共有をとることを心掛ける
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2		1			コロナ安定後積極的に、再開していきたい。 参加がなかなかできない方もいるので定期的に講習会やイベント、交流会を行い、内容や時間を考慮していきます。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	3					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3					毎月「ToiToiだより」を発行。また、HPやFBなどでも日々の様子をお知らせしている。便りは手渡しを心掛ける。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3					各マニュアルをHPに掲載し、誰でも見られるようにする。行った訓練などは、毎月のお知らせやSNSなどにアップし周知を促していく
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3					年に2回行っている。また、事例を基にした緊急時シュミレーション。救急法も適宜行っていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2			1		
	23	事業所の支援に満足している	3					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 25日

事業所名 重症心身 児童発達支援 pal

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	3	・個人の医療物品や持ち物が多い為、カゴなどを使用し空間を確保する ・子どもの担当分けを行い、間隔をあげスペースを保つようにしている。	・混雑している。分ける工夫や努力はしていると思います。 ・曜日によっては、スペースが密の時がある。 →人数に応じてフロアを分けている。 ・現場のリーダーが俯瞰で全体を見るようにし整理整頓を心がける。
	2	職員の配置数は適切である	3	4	1		・日によっては、職員が少ないと思う時がある。 ・利用児が多い日は、十分でない時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	3		・出入口、浴室を改善した方が良い。 ・十分でない状況。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	5			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		1	無回答:3	・不明
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	3	無回答:1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		無回答:1	・研修の提供はされていますが、自宅学習と研修の時間が確保されていないので、必要に思います。 →学研ナーシングeラーニングを導入し、自宅学習に活用している
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				・まだまだ十分ではないもののかたち作りができてきた様思う。 →多職種でミーティングを行い、多角的に分析し支援に活かしていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			無回答:1	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		無回答:1	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		無回答:1	

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	4			シフト制のため全員集まったのミーティングができていない。情報伝達ツールを活用する	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2			無回答:2	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2			無回答:1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	1			・指示書を提供してもらい、指示書に添ったケアができています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1			無回答:1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	1		・これまで、卒業していったケースでは、情報提供していないのではないかと。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2			無回答:1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	2		無回答:1	・コロナにて交流することは難しいが、交流の機会を持つようとしている。 ・現在は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1			無回答:2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8					
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5			無回答:1	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		無回答:1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	2	無回答:1	・コロナのために、会合等の開催は難しいが、保護者同士の連携を支援している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				・連絡帳を通して疎通ができています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	2	無回答:1	・計画はできている(七夕等) ・現在はできていない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2			・マニュアル作成中?(まだ、周知できていない気がする。(防犯等))
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		1	無回答:1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 2月 25日

事業所名 重症心身 児童発達支援 pal 保護者等数(児童数)10 回収数 10 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	4	1		定員5名ではあるが施設基準10人程度のスペースは維持している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3	1		整理整頓を心掛ける。点滴台など室内の整備を行った。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10				個々の状態に合わせて、集団療育プログラムを合わせて行っている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4		感染症対策で延期になったり、中止になってしまった	コロナで中断中。安定したら積極的に行っていく。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				送迎時などに積極的に情報交換ができるように努める。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	6		無回答:1	コロナで中断中。安定したら積極的に行っていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10				毎月「ToiToiだより」を発行。また、HPやFBなどでも日々の様子をお知らせしている。便りは手渡しを心掛ける。
14 個人情報に十分注意しているか	10					

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3	無回答 1	各マニュアルをHPに掲載し、誰でも見られるようにする。行った訓練などは、毎月のお知らせやSNSなどにアップし周知を促していく
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2	無回答 1	年に2回行っている。また、事例を基にした緊急時シミュレーション。救急法も適宜行っていく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10			
	18	事業所の支援に満足しているか	10			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。